

【 検査 】

725 ヘパリン使用手術（人工心肺使用手術）予定患者における術前検査としてのアンチトロンビン活性の算定について

《令和7年11月28日》

○ 取扱い

ヘパリン使用手術（人工心肺使用手術）予定患者における術前検査としてのD006「9」アンチトロンビン活性（AT活性）の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

ヘパリンの作用がアンチトロンビンⅢ低下例においては減弱する可能性があり、ヘパリン使用手術（人工心肺使用手術）の術前にアンチトロンビン活性（AT活性）を測定することは医学的に妥当と判断される。

以上のことから、ヘパリン使用手術（人工心肺使用手術）予定患者における術前検査としてのD006「9」アンチトロンビン活性（AT活性）の算定は、原則として認められると判断した。